洪水時の防災情報

●羽生市が発令する警戒レベル3又は警戒レベル4の避難情報で必ず避難しましょう。
●国土交通省や気象庁等が発表する河川水位や雨の情報を参考に、自主的に早めの避難をしましょう。

避難情報等（警戒レベル）		河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）	
警戒レベル	避難情報等	防災気象情報（警戒レベル相当情報）	
5			
<警			
4			
3			
2			
1	早期注意情報		—

令和８年５月２９日より
気象防災情報の内容が
変更となっています。

風水害時の避難行動では、自宅が危険性の高い場所にある場合は「立退き避難」を行うことが基本です。
高齢者等避難が発令されたら高齢者や身体の不自由な方等が避難を開始、避難指示が発令されたら全員が避難を開始・完了してください。

雨の降り方と雨量の関係

	やや強い雨 10～20mm	強い雨 20～30mm	激しい雨 30～50mm	非常に激しい雨 50～80mm	猛烈な雨 80mm以上
予報用語 1時間雨量 (mm)					
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車の運転は	—	ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

水害から身を守る避難行動

「避難」とは「難」を「避」けることです。大雨や台風時に自宅や周囲がどのような状況になるのかを想定して、避難行動を考えましょう。

マイ・タイムラインを使って、「あなたのとるべき避難行動」を整理しましょう

マイ・タイムライン（あなたと家族のための避難予定表）とは、大雨や台風接近等により、水害の危険性が高まっているときに、自分自身がとる行動を時間の流れに沿って整理したものです。いざという時に慌てないために、右記の「羽生市版マイ・タイムラインシート」に書き込みましょう!

マイ・タイムライン作成のポイント

①洪水ハザードマップを確認し、自分の身の回りに起こりやすい災害リスクを確認しましょう。
②気象情報や避難情報は、避難の準備や避難開始のタイミングを決める目安となります。情報の入手方法（防災行政無線、市のホームページ、テレビ等）も決めておきましょう。
③洪水ハザードマップを確認し、避難する場所を事前に想定しておきましょう。

マイ・タイムライン使用時の注意点

実際の洪水において、マイ・タイムラインで想定したとおりに進行するとは限りません。次の注意点をふまえた行動をとってください。
①あくまでも行動の目安です。早めの避難を心掛けてください。
②気象情報や避難情報等を、こまめに収集してください。
③収集した情報をもとに、マイ・タイムラインを参考にして、臨機応変に行動してください。

マイ・タイムラインの詳しい説明やマイ・タイムラインシートへの記入例は、市ホームページに掲載しています。

市ホームページTOP ＞ 組織から探す ＞ 地域振興課 ＞ マイ・タイムラインで逃げ遅れゼロへ
または
市ホームページTOP ＞ 防災情報 ＞ マイ・タイムラインで逃げ遅れゼロへ

避難には、4つの行動があります。

立退き避難

指定避難所
自ら携行するもの
・マスク
・消毒液
・体温計
・スリッパ　等

安全な親戚・知人宅
普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

安全なホテル・旅館
通常の宿泊料が必要です。
事前に予約・確認しましょう。

立退き避難とは

浸水や家屋倒壊等のおそれがある場所から、安全な場所に移動することです。
ハザードマップ等で安全な場所かどうかを確認しましょう。

屋内安全確保（垂直避難）

3つの条件を満たしている場合
普段から十分な備蓄を行い、建物の安全性を確認して災害に備えましょう。

屋内安全確保の3つの条件

①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない。
②浸水深より居室は高い。
③水が引くまでの間、十分な水・食料などの備えがある。